

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティプラザ管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	05	01	02	01	01
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課				
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住・在勤の勤労者及び市民等	意図	勤労者の福利厚生を補完する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入しているコミュニティプラザの利用者向けの予約システムの稼働や建物損害保険等により、適正管理を行っている。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の福利厚生施設として、平成2年に勤労者総合福祉センターを、平成3年に勤労者体育施設を開館し、勤労者の福利厚生に寄与してきた。 施設の有効活用を図るため、利用範囲を拡大し、地域の融和施設として利用者は増加している。 建設後2.7年を経過しており、設備等の老朽化により、小破修繕が増加している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施設利用者	153,187	146,717	157,737	人	↑↑↑	延べ利用者数
②	施設の稼働率	80.70	80.30	86.60	%	↑↑↑	各施設毎の使用日数/会場日数の年間稼働率の平均	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・指定管理者は、利用者の立場に立って利便性の向上に努めている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,415,030	778,672	1,746,058				
事業費(b)(円)		1,185,670	496,142	1,465,858				
うち一般財源		1,185,670	496,142	1,465,858				
職員給与費(c)(円)		229,360	282,530	280,200				
人役・職員(人)		0.02	0.03	0.03				
人役・再任用(人)		0.02	0.02	0.02				
人役・臨職(人)		0.04	0.03	0.03				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	利用者の利便性の向上及び安全性を図るため、施設維持に努める。	③取組における課題(Check)	備品の劣化や修繕箇所が年々増加しており、施設の老朽化への計画的改修や備品の更新が課題。
②H30に実施した取組(Do)	指定管理者において小破修繕を実施。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、指定管理者と連携を図り市民目線に立った管理運営に努める。 施設の老朽化への計画的かつ適切な対応に努める。